

淡江大學 105 學年度第 1 學期課程教學計畫表

課程名稱	日台產學官合作	授課 教師	石田光義 ISHIDA MITSUYOSHI
	JAPAN AND TAIWAN COLLABORATIVE CAPSTONE PROGRAM		
開課系級	日政一碩士班 A	開課 資料	選修 單學期 2學分
	TIGXM1A		
系 (所) 教育目標			
培育國內外通曉日本政經之高級實務與學術人才，並導引師生致力於日台法政與經貿關係之發展，協助促進國家安全與發展。			
系 (所) 核心能力			
A. 通過英檢中級初試及日檢二級。			
課程簡介	<p>キャップストーンプログラムは、産官学協働連携による研究教育人材育成プログラムである。台湾及び日本の企業、政府機関やNPOなどが、経営上の課題を大学のカリキュラムとして提供し、大学の知的財産を活用して、現実的課題解決策をまとめるものである。受講学生にとっては、実社会における課題解決に研究成果を役立てることにより、働きがいのある職場を見つける場となる。（本講義は日本語で行う）</p>		
	<p>Capstone programs are research, education, and a personnel training program by collaboration of industrial, administrative and academic sectors. The company in Taiwan and Japan, a government organization, NPO, etc. offer the subject on management as a curriculum of a university, utilize the intellectual property of a university, and get a realistic business solution measure into shape.</p> <p>For an attendance student, it becomes a place which finds the place of work to commit by using the result of research for the business solution in the actual world.</p> <p>(This lecture will be held in Japanese)</p>		

本課程教學目標與目標層級、系(所)核心能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「系(所)核心能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應其「系(所)核心能力」。單項教學目標若對應「系(所)核心能力」有多項時，則可填列多項「系(所)核心能力」。(例如：「系(所)核心能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列。)

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	系(所)核心能力
1	企業の課題達成に向けた、的確な現状分析と創意に満ちたデザイン能力	The design capability towards subject achievement of a company to have been filled in exact present data analysis and originality.	C4	A

教學目標之教學方法與評量方法

序號	教學目標	教學方法	評量方法
1	企業の課題達成に向けた、的確な現状分析と創意に満ちたデザイン能力	討論、參訪、問題解決	報告、上課表現

本課程之設計與教學已融入本校校級基本素養

淡江大學校級基本素養	內涵說明
◇ 全球視野	培養認識國際社會變遷的能力，以更寬廣的視野了解全球化的發展。
◇ 資訊運用	熟悉資訊科技的發展與使用，並能收集、分析和妥適運用資訊。
◇ 洞悉未來	瞭解自我發展、社會脈動和科技發展，以期具備建構未來願景的能力。
◇ 品德倫理	了解為人處事之道，實踐同理心和關懷萬物，反省道德原則的建構並解決道德爭議的難題。
◆ 獨立思考	鼓勵主動觀察和發掘問題，並培養邏輯推理與批判的思考能力。
◇ 樂活健康	注重身心靈和環境的和諧，建立正向健康的生活型態。
◆ 團隊合作	體察人我差異和增進溝通方法，培養資源整合與互相合作共同學習解決問題的能力。
◇ 美學涵養	培養對美的事物之易感性，提升美學鑑賞、表達及創作能力。

授課進度表

週次	日期起訖	內容 (Subject/Topics)	備註
1	105/09/12~ 105/09/18	Capstone Program 說明と進め方解説	
2	105/09/19~ 105/09/25	企業 による経営課題と達成目標の提示	
3	105/09/26~ 105/10/02	企業 による経営課題と達成目標の提示	
4	105/10/03~ 105/10/09	企業 による経営課題と達成目標の提示	
5	105/10/10~ 105/10/16	企業 による経営課題と達成目標の提示	
6	105/10/17~ 105/10/23	企業 による経営課題と達成目標の提示	
7	105/10/24~ 105/10/30	担当企業に関する情報収集と経営課題分析の結果報告	
8	105/10/31~ 105/11/06	担当企業に関する情報収集と経営課題分析の結果報告	
9	105/11/07~ 105/11/13	担当企業に関する情報収集と経営課題分析の結果報告	
10	105/11/14~ 105/11/20	前半のまとめと中間報告	
11	105/11/21~ 105/11/27	各企業に関する現場研修を含めたグループワーク	
12	105/11/28~ 105/12/04	各企業に関する現場研修を含めたグループワーク	

13	105/12/05~ 105/12/11	各企業に関する現場研修を含めたグループワーク	
14	105/12/12~ 105/12/18	各企業に関する現場研修を含めたグループワーク	
15	105/12/19~ 105/12/25	課題達成度分析と新たな課題設定	
16	105/12/26~ 106/01/01	課題達成度分析と新たな課題設定	
17	106/01/02~ 106/01/08	課題達成度分析と新たな課題設定	
18	106/01/09~ 106/01/15	研究成果発表会と企業による講評	
修課應 注意事項	各企業担当の学生によるグループワークが中心となるので、担当企業及び担当学生間の連絡と相談が密に行われることを望みます。		
教學設備	電腦、投影機		
教材課本			
參考書籍			
批改作業 篇數	篇（本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫）		
學期成績 計算方式	◆出席率： 20.0 % ◆平時評量：40.0 % ◆期中評量： % ◆期末評量： % ◆其他〈意見表明〉：40.0 %		
備 考	<p>「教學計畫表管理系統」網址：http://info.ais.tku.edu.tw/csp 或由教務處首頁〈網址：http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php〉業務連結「教師教學計畫表上傳下載」進入。</p> <p>※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。</p>		